

## 「神経難病患者における自宅訪問指導による転倒予防効果の検証」

### 臨床研究へのご協力をお願い

神経難病の患者さんは、運動障害や認知障害など転倒に関連する症状があり、地域在住高齢者の方よりも転倒患者の割合や転倒頻度が高いことが知られています。入院していただき転倒予防のための運動指導や環境面での指導を行い、入院中は転倒を予防することができても、退院後自宅で転倒し重篤な外傷を合併する方が稀ならずおられます。転倒歴のある神経難病入院患者さんでは、ご自宅の環境を確認させていただき、ご自宅での動作・環境指導が必要と考えられる方には、退院前に医師・看護師・理学療法士・作業療法士がご自宅へ訪問指導をさせていただいています。今回は、訪問指導により実際の生活場面で移動の方法や環境調整を行うことで、転倒や外傷の予防効果があるかどうかを確かめる研究を行います。

調査項目は、患者さんの ①病名、②年齢、③性、④発症年月、④症状、⑤ 転倒・外傷頻度、⑥その他の付随する臨床および検査所見です。

本研究は日常診療として行っている内容を振り返って検討する研究であり、これにより新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は個人が特定されない形で厳重に取り扱います。皆さまの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究に関する研究計画書を閲覧されたい場合、あるいはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望される方、途中で研究使用の中止を希望される方、またこの研究に関して質問や相談をされたい方は、下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

連絡先：

〒465-8620 愛知県名古屋市中東区梅森坂五丁目 101 番地  
国立病院機構東名古屋病院 神経内科 リハビリテーション部長  
研究責任者 饗場郁子  
☎ 052-801-1151 (代表)